

こんにちは 山田耕平 です

2014.4.10 No.150

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺 2-2-1 1
TEL 090-9973-0941
ホームページ
<http://yamadakohei.jp>

杉並区立施設再編整備計画 杉並区立科学館 廃止方針にストップを

科学館は地域に根差した施設としても発展してきた。



一方的な施設廃止方針… 存続を求める声相次ぐ

区立施設再編整備計画では、杉並区立科学館の廃止方針が示されました。現状では、二〇一五年度（平成二十七年）をもって、施設は廃止されます。

しかし、一方的な廃止方針を巡り、科学館に携わってきた住民、研究者、教育関係者等、区内外の方々から「廃止方針の見直し」を求める多数の声が寄せられています。

多くの意見が「科学館の歴史を蔑ろにしてほしくない」「科学館が果たしてきた役割を汲み取ってほしい」というものであり、杉並区立科学館の歴史的な価値が示されています。

杉並区立科学館出身で、自然科学諸分野の学会に属し、日本や海外の関連施設で活躍する方も大勢います。国立天文台准教授・教育学博士の縣秀彦さん（NHK高校講座、ラジオ深夜便にレギュラー出演中）は、「天文教育の危機、杉並区立科学館廃止案の撤回を」という記事（YAHOOニュース）を寄せています。

科学館の歴史

区は1969年（昭和44年）に、全国に先駆け区立の科学教育センターを開設し、児童生徒の理科学習を支援してきました。

2002年（平成14年）には科学館と改称し、区民の科学に関する興味・関心にも応える生涯学習施設としての役割を兼ね備えるようになりました。

科学館廃止に関して寄せられた主な意見

- ◆ 杉並に生まれ、杉並に育ち、科学教育センター創成期から目のあたりにしてきた者として他区に例のない、伝統ある科学館の存続を切に願う。
- ◆ 科学館の存続を強く希望する。専門の教育者から正しい理科学的思考を学ぶことが、子ども達にとっては不可欠。今まで以上に良い理科教育を行なうには、十分な教材研究、追跡調査等を行なう施設が必要。
- ◆ 大人に対しても科学教育は今後の日本の発展の礎となる。科学館の存在が区民の科学への意識を高めると思う。廃止ではなく、移転など他の方法の再考を願う。

※以上、同趣旨意見多数

利用者や現場職員と共に「施設の今後」の協議を

区は、計画見直しを求める多くの意見に押され、施設廃止の実施年度を当初予定の二〇一四年度から一年間、期間を遅らせましたが、方針を変更する姿勢はありません。また、科学館廃止後、その機能をどうするのかも具体的に決まっていない状況です。

子どもが学ぶ教育学習部門と一般区民が学ぶ生涯学習部門が一体となっている施設は杉並区が誇るべき施設です。

科学館の今後については「廃止ありき」ではなく、区行政が利用者や現場職員と共に協議する姿勢が必要です。

3月28日 国土交通省より告示 外環道計画 大深度地下の使用を認可

三月二十八日、国土交通省は、東京外かく環状道路（関越（東名）の大深度地下の使用を認可しました。使用認可により、外環道計画が一気に加速する可能性があります。

**公聴会での意見は無視：
環境への悪影響が懸念される**

二月に開催された大深度地下使用認可に係る公聴会では、公述人の多くが計画見直しを求め、意見を挙げていました。また、大深度地下を使用した際の「自然環境・住環境」への影響についての質問も行なわれましたが、国は不誠実な回答を繰り返して、多くの公述人から不信と怒りの声が寄せられていました。今回の大深度地下の使用認可は、公聴会の意義を蔑ろにするものであり重大な問題です。

**国の姿勢は重大問題
計画推進は許されない**

外環道路計画での大深度地下使用は、住宅街の直下を通過する前例の無い計画となります。様々な専門家が地下水への影響や、地表部分の地盤変位等、多くの問題を懸念しています。問題を放置したまま、計画を推進することは許されません。

外環の2計画の進捗状況は？

外環本線地上部分への幹線道路計画「外環の2地上部街路計画」も依然として、残されており、検討が進められています。

外環の地上部街路話し合いの会（第10回）

- 日時：4月23日（水）午後7時～9時
- 場所：あんさんぶる荻窪4階

ぜひ、傍聴にご参加ください！

国土交通省 東京外かく環状国道事務所ホームページより掲載



[JCT・ICは仮称・供用区間は除く]

育メン日誌

インフルエンザB型大流行…

我が家でインフルエンザB型が猛威を奮いました。それぞれが順番に感染し、やっと全員が完治したところです。

兄妹がいると仲良く感染し合うので本当に苦労しました…トホホ。

特に、子どもたちは別々の保育園に通っているため、それぞれの園で一定期間ずつ登園を自粛。我が家は、送り迎え時の混乱と日中の付添いにパニック状態になりました…（苦笑）。実家の援助を受けて、なんとか乗り切りましたが、なかなか大変な経験でした。この先、何度も経験することになりそうですが、頑張っ乗り越えたいと思います！



こんな状態じゃ、感染するのは当然ですが…。兄妹仲良く乗り越えました。

特別養護老人ホーム増床 マイルドハート高円寺

不足する特養ホーム整備に本腰を！

4月10日（水）特別養護老人ホームマイルドハート高円寺の増築工事竣工式に参加しました。

増築工事により、これまでの定員145名の特別養護老人ホーム（本館）に新たに特養定員36名、ショートステイ定員21名の増床（新館）が行なわれます。

本館と新館を合わせた敷地面積は5000㎡程度であり、新館部分の敷地面積は1000㎡程度です。用地確保が困難な都市部では、小規模の特別養護老人ホームの整備が効果的です。

しかし、小規模の場合、事業採算点が問題となり、事業者参入が進んでいないのが現状です。

用地確保を行政が行なう他、事業者参入に対する行政の補助を手厚くする等の対策が必要になっています。



今後の特養ホーム整備には、行政の役割が問われる。